

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	971	人権教育ビーコンスクール事業	01	01	一般会計
			10	10	教育費
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	01	01	教育総務費
			03	03	義務教育振興費
担当部課名		教育部 学校教育課	102	102	児童生徒指導経費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先 22-9676	細目	15	人権教育ビーコンスクール事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	崇広中学校区小中学校児童生徒 柘植中学校区小中学校児童生徒	「子ども人権ネットワーク」がつくられ、その実践が市内はもとより三重県内各地に発信されます。
本年度事業内容	1. 人権同和教育にかかわる教育実践 2. 教職員の資質向上のための研修 3. 人権学習の公開研究会の実施	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 18 年度
		根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.3	0.8	0.8
	人件費合計(A)	9,360	5,760	5,760
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,318	2,318	2,318
	委託料	2,318	2,318	2,318
	その他			
	合計(A+B)	11,678	8,078	8,078
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	2,318	2,318	2,318
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	9,360	5,760	5,760
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
教育実践実施校数	校	2	2	2	2	2	2
研修実施校数	校	2	2	2	2	2	2
公開研究会実施校数	校	2	2	2	2	2	2

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
子ども人権ネットワークからの発信回数	生徒の主体的な取り組みから、ホームページや学校だよりを通して、校区や県内に発信した回数を指標としました。	回	6 目標 (9)	12	12
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

部落差別をはじめとするすべての人権侵害をなくすために、崇広中学校と柘植中学校において子ども「人権ネットワーク」を立ち上げ、生徒が主体的に人権問題の解決に取り組んでいます。たとえば、柘植中学校の全校解放学習会での生徒一人一人は、自分のことを語る中で、反差別の仲間としてつながろうという強い気持ちを訴えています。崇広中学校では、校内ヒューマンライツからの発信を受け、全校で「カンボジアの子どもたち」との交流を進めています。その中で、かつての被差別の状況とカンボジアの現状を重ね合わせて部落差別を実感し、自分たちにできることを模索しています。両校とも、積極的に校区へ呼びかけ、差別のないまちづくりにつなげようと取り組んでいます。当面、伊賀市においては、拠点校として2校を考えています。

評価	必要性	4	地域や保護者の支援を得ながら、子どもたちが主体となって、「差別のない学校づくり、まちづくり」に取り組んでいます。子どもたちからの発信を家庭や地域でしっかり受け止め、「差別のない伊賀市」をめざしてともに取り組んでいきたいと思ひます。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A